



①大学院先導的実学研究プロジェクト

大学院における高度な研究を推進するとともに、教育研究基盤の充実を図ることを目的として、各専攻の研究戦略（研究課題）に沿った独自の研究をプロジェクトごとに実施しています。

研究課題名	研究代表者		SDGs ゴール
	所属・職名	氏名	
ウシの腸内細菌叢と miRNA を考慮した新規飼養基準による持続的な乳・肉生産体系の提案	動物科学科・教授	岩田 尚孝	
アフリカ農業を救うストリゴラクトン高生産系の構築と、高活性類縁体の創出	バイオサイエンス学科・教授	坂田 洋一	 
抗肥満作用を有する高機能性ブロッコリーの選別と農大発の高機能性野菜の開発	農芸化学科・教授	井上 順	
日本ブランドエミューの創出を目指した遺伝・繁殖・栄養学的研究	北方圏農学科・教授	和田 健太	  

②大学戦略研究プロジェクト

21 世紀の時代的要請に応えるべく本学における戦略的な研究領域を設定し、「食の安全」「生物多様性」「SDGs」をキーワードとしたプロジェクトチームを立ち上げて、研究を推進しています。

研究課題名	研究代表者		SDGs ゴール
	所属・職名	氏名	
環境 DNA を用いた流行性病原体の自然環境下における感染経路ネットワーク推定	動物科学科・准教授	米澤 隆弘	 




<p>食用藍藻スピルリナが生産する細胞外高分子物質EPSの機能評価と大量生産系の構築</p>	<p>バイオサイエンス学 科・准教授</p>	<p>渡辺 智</p>	   
<p>カンボジア王国コンポンチャム州におけるバイオエネルギーを活用した農産物の加工条件および加工システムの構築</p>	<p>生産環境工学科・教授</p>	<p>村松 良樹</p>	        





			 
アジア地域産薬草が持つ機能性・安全性の網羅的評価法の確立	国際食農科学科・教授	山内 淳	
渡り鳥の生息環境を指標とした、日露陸海域の生態系保全を目指す研究	北方圏農学科・准教授	白木 彩子	  
異科属植物間での接木を志向した分子化学的アプローチ	分子生命化学科・准教授	斉藤 竜男	 
サブサハラ・アフリカにおける都市-農村間連携の再構築と農業・栄養・健康・自然資源の連環による持続型社会の構築	デザイン農学科・准教授	松田 浩敬	   
植物・昆虫・動物の多様性を指標とした島嶼農業生態系の評価と保全	生物資源開発学科・教授	小島 弘昭	

<p>モンゴルにおける有機資材と耐乾燥性品種を活用した持続的農業技術の開発</p>	<p>北方圏農学科・教授</p>	<p>中丸 康夫</p>	   
<p>産官学連携による迅速なレタス新品種育成の核となるゲノム育種技術の開発</p>	<p>生物資源開発学科・助教</p>	<p>小松 憲治</p>	 
<p>生物多様性レジリエンスを踏まえた半自然草地の保全・再生手法の開発</p>	<p>森林総合科学科・准教授</p>	<p>今井 伸夫</p>	
<p>気候変動に伴う降雨パターンの変化が農地と作物に与えるリスクの評価と適応農法の確立に関する研究</p>	<p>生産環境工学科・教授</p>	<p>鈴木 伸治</p>	

③海外協定校との共同研究プロジェクト

本学と海外協定校との教員レベルでの学術交流を基礎とした共同研究体制のもとに、世界共通の問題解決へ向けた活動によって、国際社会への貢献を目指す研究を推進しています。

研究課題名	研究代表者		SDGsゴール
	所属・職名	氏名	
<p>ネパール・ヒマラヤにおける気候変動及び生活様式の変化による災害リスクと生物多様性への環境インパクトの包括的評価 (協定校：ネパール・ネパール農林業大学)</p>	<p>地域創成科学科・准教授</p>	<p>下嶋 聖</p>	  

<p>アジア・モンスーン地域におけるグリーンインフラの実態と枠組みに関する研究 (協定校：中国・上海交通大学、フィリピン・フィリピン大学ロスバニオス校)</p>	<p>造園科学科・教授</p>	<p>鈴木 貢次郎</p>	   
--	-----------------	---------------	--

④農研機構とのマッチングファンド型共同研究プロジェクト

農研機構と本学の間で締結した包括的連携協定契約を機会として、将来の外部資金獲得、基礎研究の発展を踏まえつつ、研究成果の社会実装を目指す先導的研究に対し、双方から研究助成金を提供します。

研究課題名	研究代表者		SDGs ゴール
	所属・職名	氏名	
<p>ゲノム編集による低シュウ酸含量ホウレンソウ育種を目指したVIGS 技術によるターゲット遺伝子の同定と形質転換系の確立</p>	<p>バイオサイエンス学科・教授</p>	<p>太治 輝昭</p>	 
<p>コムギコアコレクションを利用したコムギの高温ストレス耐性に関わる最適な DNA マーカーの開発</p>	<p>農学科・教授</p>	<p>西尾 善太</p>	
<p>冬季および高冷地での土壌の低温環境が緑肥分解および 養分可給化に与える影響</p>	<p>農学科・助教</p>	<p>中塚 博子</p>	 
<p>新たな野生動物個体数調節手法としての不妊化ワクチンの開発</p>	<p>北方圏農学科・教授</p>	<p>相馬 幸作</p>	

⑤学部長主導型研究プロジェクト





学部の研究力を結集し、人材育成と社会発信を含んだプロジェクトです。研究テーマや研究体

学部長主導により学部の研究力を結集することで「特色・強み」を具体的に引き出し、将来的に社会貢献につながる農大らしい研究を推進しています。

研究課題名	研究代表者		SDGs ゴール
	所属・職名	氏名	
現代人の栄養代謝を改善する新しい「栄養強化米」の開発と実用化（東京農大独自のブランド米開発）	応用生物科学部・教授	本間 和宏	 
地域主体のアザラシの循環型順応的管理システムの構築を目指して（～アザラシの生態系サービスと有効利用の可能性を探る～）	生物産業学部・教授	吉田 穂積	   

⑥若手・女性研究者支援プロジェクト

本学における若手・女性研究者の研究意欲及び研究能力の向上を図ることを目的に、研究者個人の独創的な発想を重視した研究活動を基礎研究、応用研究を問わず支援しています。

研究課題名	研究代表者		SDGs ゴール
	所属・職名	氏名	
記憶アップデートの分子基盤の解明	バイオサイエンス学科・助教	福島 穂高	
国内に発生するカンキツトリステザウイルスの遺伝子型解明とマーカー開発	農学科・助教	キム オッキョン	  

<p>レプチンシグナルに着目したメタボリックシンドロームにおける皮膚機能脆弱化の分子機構の解明</p>	<p>食品安全健康学科・助教</p>	<p>山根 拓実</p>	
<p>X線結晶構造解析を用いた新規抗マラリア薬候補化合物の改変</p>	<p>バイオサイエンス学科・嘱託助教</p>	<p>竹野谷 美穂子</p>	
<p>大学生の農業実習・インターンの教育効果に関する理論的・実証分析～東京農業大学の实地研修・販売実習を事例に～</p>	<p>国際バイオビジネス学科・助教</p>	<p>今井 麻子</p>	  
<p>ガラス添加セラミックスを用いたゼロ膨張材料の硬度・強度評価</p>	<p>生産環境工学科・嘱託助教</p>	<p>杉本 隆之</p>	